Ⅳ 参考資料

平成 26 年度 地域連携が学校経営に与える効果に関する調査研究

く調査への協力のお願い>

本県では、とちぎ教育振興ビジョン(三期計画)並びに栃木県生涯学習推進計画四期計画により、「生涯学習社会"とちぎ"」の実現に向け、学校・家庭・地域社会の連携強化を図りながら、地域の教育力向上を目指した施策を展開しています。

栃木県総合教育センターでは宇都宮大学地域連携教育研究センターとの共同で、地域と学校の連携によってもたらされる効果について、学校経営に焦点を当て、「地域連携が学校経営に与える効果に関する調査研究」を実施します。

この研究では、各市町小・中学校と県立学校の校長先生及び教頭(副校長)先生に御協力をいただき、事例調査やアンケート調査を通して、学校と地域の連携の現状や課題等を把握するとともに、連携によってもたらされる効果を明らかにし、その意義や有効な進め方・あり方、課題などについて提言したいと考えています。

つきましては、御多用のところ恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

<回答にあたってのお願い>

- 1 調査対象者
 - ・公立小中学校長及び教頭(副校長) 〈別紙〉
 - 県立学校長及び教頭〈別紙〉
- 2 アンケートの配布及び回収

各市町分まとめて各市町教育委員会にお送りします。<u>市町教育委員会から各学校</u>(別紙)への配布をお願いいたします。

県立学校には、直接お送りします。

回収につきましては、回答先から総合教育センターに直接FAXで返信していただきますので、特に市町教育委員会での集計、取りまとめ等は必要ありません。

3 回答について

平成 25 年度から回答時までの活動状況について回答してください。

(回答用紙に御記入ください。)

- 校長先生⇒地域連携が学校経営に与える効果に関するアンケート(校長用)
- 教頭先生⇒地域連携が学校経営に与える効果に関するアンケート

(教頭・副校長用)

記入が終わりましたら、<u>回答用紙を 10月 17日(金)までに総合教育センター</u> 生涯学習部にFAXで返信ください。

4 その他

- ・本調査は、各学校の活動等を評価するものではなく、個々の学校名及び個人名をあげて比較等をすることもいたしません。また、回答については、あくまでも統計的に処理し、この研究以外には使用いたしません。
- ・御回答いただきました内容について、後日質問させていただく場合がありますので、その際は御協力いただきますようお願いいたします。
- 〇 この調査に関する御質問等は、下記までお問い合わせください。

栃木県総合教育センター 生涯学習部

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7206 FAX 028-665-7219

担当 高德 晃

- ○各学校の校長先生に回答をお願いします。
- ○活動状況については平成25年度から回答時までの内容で回答してください。
- 〇回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。
- 問1 回答者についておたずねします。
 - (1)性別を教えてください。
 - ア女
 - イ 男
 - (2) 校種は何ですか。
 - ア 小学校
 - イ 中学校
 - ウ 高等学校
 - 工 特別支援学校
- 問2 社会教育主事の資格をお持ちですか。
 - ア はい ⇒ 取得年(昭和・平成___年)

イ いいえ

____ 当てはまる方に、〇を付けてください。

- 問3 行政職の経験はありますか。
 - ア はい (職名について、当てはまるものすべてに〇を付けてください) 社会教育関係(社会教育主事、副主幹 社会教育施設指導主事 等) 学校教育・学校管理関係(指導主事、管理主事、副主幹 等)

イ いいえ

- 問4 貴校では、次のような地域と連携した活動を行っていますか。当てはまるもの全てに〇を付けてください。
 - ア 地域、団体活動への児童生徒の参加(例 敬老会への参加)
 - イ 地域での児童生徒のボランティア活動(例 ゴミ拾い活動)
 - ウ 地域、団体活動への教職員の参加
 - エ 校内研修会への地域住民の参加
 - オ 学校開放(例 オープンスクール)
 - カ 地域と学校の共催事業
 - キ 学校支援ボランティアをコーディネートする組織がある(例 地域協議会)
 - ク 地域の方による学校支援ボランティア活動
 - ケ 地域内での校外学習
 - コ 地域の方を学校に招いての交流会
 - サ その他(具体的にご記入ください)
- 問5 貴校の地域連携に際して、職員の取り組み方はいかがですか。
 - 1 熱心である 2 どちらかというと熱心である 3 あまり熱心ではない
- 問6 活動により、学校経営にどのような効果があったと思いますか。次の①~②について、【6-1~4】のカテゴリーごとに、もっとも当てはまると思われる項目3つに〇を付けてください。
 - 【6-1 学校全体】
 - ①学校の設備・施設が充実した(ビオトープ作成や生け垣設置等)
 - ②校内のゴミなどが減って、学校の美化が進んだ

- ③教室(特別教室等)の掲示物等が充実した
- ④学校への苦情が減った
- ⑤学校行事に協力的な保護者の数が増えた
- ⑥地域の住民や地域の団体からの協力が得やすくなった
- ⑦学校から地域への情報発信が増えた

【6-2 教職員】

- ⑧授業の内容が充実した
- ⑨地域素材を生かした幅広い教育活動を展開する教職員が増えた
- ⑩ほどよい緊張感が生まれ、教職員のモラルが向上した
- ⑪児童生徒に対する教師の言葉遣いがよくなった
- ⑩家庭(保護者)との連絡をよくとる教職員が増えた
- ③教職員との(または教職員同士) 意思疎通がうまくいくようになった
- (4)教職員の校務の負担が軽減された
- (5)学校内だけでは解決できない子どもの諸課題の解決につながった
- ⑩積極的に学校支援ボランティアに依頼する教職員が増えた
- ⑪地域の行事に参加したり、地域の様子に関心を示したりする教職員の数が増えた

【6-3 児童生徒】

- 18児童生徒の学力が向上した
- (9)自分の考えや意見をわかりやすく述べることができる児童生徒が増えた
- ②授業に意欲的に取り組む児童生徒が増えた
- ②学校のルールを守る児童生徒が増えた
- ②しっかりとした挨拶ができる児童生徒が増えた
- ② 乱暴な言葉を使う児童が減った
- ④児童生徒の自尊感情、自己肯定感が高まった
- ②児童生徒の職業についての意識が向上した
- 26地域活動に参加する児童生徒が増えた

【6-4 地域社会】

- ②児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に対して協力的な人が増えた
- ② 学校支援ボランティアの人数が増えた
- ⑩地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった(教育力の向上)
- ③の地域にある団体の活動が活発になった
- ③地域づくり・まちづくりに対する機運が高まった
- ③2)地域の安全・安心が確保されるようになった
- 問7 その他、地域連携が学校経営に与える効果について、お気付きのことがありましたら、自由にご記入ください。
- 問8 学校経営上、地域連携教員の制度について、どのように考えますか。(理由もご記入ください。)
 - ア よかった
 - イ よくなかった
 - ウ どちらでもない
- 問9 地域連携教員にどんなことを期待していますか。当てはまるもの3つまで〇を付けてください。
 - ア 学校と地域が連携した活動の中心的役割
 - イ 他教員が行う地域連携に関する活動への支援
 - ウ 学校情報の発信
 - エ 地域情報の収集及び調整
 - オ 児童生徒の学力の向上
 - カ その他(具体的にご記入ください)

ご協力ありがとうございました。

10月17日(金)までに、この回答用紙をFAXにて御返信ください。(送信票不要)

栃木県総合教	牧育センター生涯学習部 宛	学	校名	
FAX	028-665-7219	氏	名	

地域連携が学校経営に与える効果に関するアンケート回答用紙

校長用

問1	(1)			ア			1	,				
	(2)	ア		イ		ウ		エ				
問	2		7	ਾ ⇒) (昭	和•平原		í	≢)			
問	3	アイ	Ξ	⇒	社会教育	育関係		学校教	育・学村	交管理関係	\	
問	4	アカサ	サの内容	イ キ)		ウ ク		ケ		オコ		
問	5	1		2		3						
問(6	1 6	学校全体 教職員】	② ⑦	3つずつ(3) 3つずつ((f)		4		(<u>5</u>)	(13))	
		(3 (18) (24)	児童生徒	19 25	⑥ 3つずつ(⑩ 26		てくた ②		22)	23)	
		(4 27)	地域社会	28	3つずつ(29	○を付け	てくた 	ぎさい。	31)	32)	
問	7											
問	8	ア		1		ウ						
		(理由)									
問	9	ア		1		ウ						
※3つ ○を てく い。	付け	I	力の内容	<u>オ</u>)		カ						

- ○各学校の教頭(副校長)先生に回答をお願いします。
- 〇活動状況については平成25年度から回答時までの内容で回答してください。
- 〇回答はすべて、別紙回答用紙に御記入ください。
- 問1 回答者についておたずねします。
 - (1)性別を教えてください。

ア女

イ 男

- (2) 校種は何ですか。
 - ア 小学校
 - イ 中学校
 - ウ 高等学校
 - 工 特別支援学校
- 問2 社会教育主事の資格をお持ちですか。

ア はい ⇒ 取得年(昭和•平成___年)

イ いいえ

、 —— 当てはまる方に、〇を付けてください。

問3 地域連携教員を兼務なさっていますか。

アはい

イ いいえ

- 問4 行政職の経験はありますか。
 - アはい(職名について、当てはまるものすべてに〇を付けてください)

社会教育関係(社会教育主事、副主幹 社会教育施設指導主事 等)

学校教育•学校管理関係(指導主事、副主幹等)

イ いいえ

- 問5 貴校では、次のような地域と連携した活動を行っていますか。当てはまるもの全てに〇を付けてくだ さい。
 - ア 地域、団体活動への児童生徒の参加(例 敬老会への参加)
 - イ 地域での児童生徒のボランティア活動(例 ゴミ拾い活動)
 - ウ 地域、団体活動への教職員の参加
 - エ 校内研修会への地域住民の参加
 - オ 学校開放(例 オープンスクール)
 - カ 地域と学校の共催事業
 - キ 学校支援ボランティアをコーディネートする組織がある(例 地域協議会)
 - ク 地域の方による学校支援ボランティア活動
 - ケ 地域内での校外学習
 - コ 地域の方を学校に招いての交流会
 - サ その他(具体的にご記入ください)
- 問6 貴校の地域連携に際して、職員の取り組み方はいかがですか。

1 熱心である 2 どちらかというと熱心である 3 あまり熱心ではない

問7 活動により、学校経営にどのような効果があったと思いますか。次の①~⑩について、【7-1~4】のカテゴリーごとに、もっとも当てはまると思われる項目3つに〇を付けてください。

【7-1 学校全体】

- ①学校の設備・施設が充実した(ビオトープ作成や生け垣設置等)
- ②校内のゴミなどが減って、学校の美化が進んだ
- ③教室(特別教室等)の掲示物等が充実し、きれいになった
- ④学校への苦情が減った
- ⑤学校行事に協力的な保護者の数が増えた
- ⑥地域の住民や地域の団体からの協力が得やすくなった
- ⑦学校から地域への情報発信が増えた

【7-2 教職員】

- ⑧授業の内容が充実した
- ⑨地域素材を生かした幅広い教育活動を展開する教職員が増えた
- ⑩ほどよい緊張感が生まれ、教職員のモラルが向上した
- ⑪児童生徒に対する教師の言葉遣いがよくなった
- ⑫家庭(保護者)との連絡をよくとる教職員が増えた
- ③教職員との(または教職員同士)意思疎通がうまくいくようになった
- (4)教職員の校務の負担が軽減された
- ⑤学校内だけでは解決できない子どもの諸課題の解決につながった
- 個積極的に学校支援ボランティアに依頼する教職員が増えた
- ⑪地域の行事に参加したり、地域の様子に関心を示したりする教職員の数が増えた

【7-3 児童生徒】

- 18児童生徒の学力が向上した
- (9)自分の考えや意見をわかりやすく述べることができる児童生徒が増えた
- ②授業に意欲的に取り組む児童生徒が増えた
- ②学校のルールを守る児童生徒が増えた
- ②しっかりとした挨拶ができる児童生徒が増えた
- ② 乱暴な言葉を使う児童が減った
- ②児童生徒の自尊感情、自己肯定感が高まった
- ②児童生徒の職業についての意識が向上した
- 26地域活動に参加する児童生徒が増えた

【7-4 地域社会】

- ②児童生徒や学校に対する理解が深まり、学校に対して協力的な人が増えた
- 28学校支援ボランティアの人数が増えた
- ⑩地域の子どもたちを地域全体で育てていこうとする意識が広がった(教育力の向上)
- ⑩地域にある団体の活動が活発になった
- ③地域づくり・まちづくりに対する機運が高まった
- ②地域の安全・安心が確保されるようになった
- 問8 その他、地域連携が学校経営に与える効果について、お気付きのことがありましたら、自由にご記入ください。
- 問9 学校経営上、地域連携教員の制度について、どのように考えますか。(理由もご記入ください。)
 - ア よかった
 - イ よくなかった
 - ウ どちらでもない
- 問 10 地域連携教員にどんなことを期待していますか。当てはまるもの3つまで〇を付けてください。
 - ア 学校と地域が連携した活動の中心的役割
 - イ 他教員が行う地域連携に関する活動への支援
 - ウ 学校情報の発信
 - エ 地域情報の収集及び調整
 - オ 児童生徒の学力の向上
 - カ その他(具体的にご記入ください)

ご協力ありがとうございました。

10月17日(金)までに、この回答用紙をFAXにて御返信ください。(送信票不要)

栃木県総合教	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学	校 名	
FAX	028-665-7219	氏	名	

地域連携が学校経営に与える効果に関するアンケート回答用紙

教頭用

※ あてはまる選択肢に、Oをつけてください。その他を選んだ場合には、記号・番号にO印をつけた上で、 内に御記入ください。

問1	(1)			ア			1	•			
	(2)	ア		イ		ウ		エ			
問	2		-	ア ⇒) (昭	和•平原	戈	左	₹)		
問3				ア			1	•			
問	4	アイ	Ξ	\Rightarrow	社会教育	育関係		学校教	育・学校	交管理関係	
問	5	アカサ	サの内容	7 ‡		ウク		ケ		オコ	
問	6	1		2		3					
問	7	1 6	学校全体	② ⑦	3つずつ(3		4		5		
		(8) (14)	教職員】	9 15	3つずつ(10 16		①1) ①7		12)	13	
		(3 (18) (24)	児童生徒	19 25	3つずつ(② ② ②	つを付け	てくだ ②1)	さい。	22	23	
		(4 ②	地域社会	28	3つずつ(29	つを付け	てくだ 30	さい。	31)	32	
問	8										
問	0	ア (理由)	1		ウ					
問 ² ※3つ Oを てい。	まで 付け	ア エ (力の内容	イ オ)		ウカ					

(平成26年2月14日栃木県教育委員会教育長決裁)

第1 目的

各学校に地域連携に携わる教員を「地域連携教員」として設置することにより、学校と地域が連携した教育活動を、生涯学習の視点から効果的・効率的に展開することを目的とする。

第2 対象

本指針の対象校は、栃木県内の公立学校(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)とする。

第3 指名

地域連携教員は、対象校の教職員であって、次に該当する者のうちから、所属校の校長が指名し校務分掌に位置づける。

- (1) 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第9条の4に規定する社会教育主事の 資格を有する者
- (2) 校長、教頭でない者
- (3) 学校の状況により、(1)(2)の要件を満たす者を指名できない場合には、教頭も含め以下の要件を満たす教員を指名する。
 - ① 地域と関わる教育活動に積極的に取り組み、力を発揮していると認められる者又は学校と地域との連携において優れた実践力を有すると認められる者
 - ② 学校と地域との連携の重要性を十分に理解し、地域連携業務を推進する意欲を有すると認められる者

第4 職務

地域連携教員は主に次の業務を行うものとする。

- (1) 学校と地域が連携した取組の総合調整に関すること
- (2) 学校と地域が連携した取組の連絡調整や情報収集に関すること
- (3) 学校と地域が連携した取組の充実に関すること

第5 留意事項

- (1) 地域連携教員は、前項の業務を行うに当たっては、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)その他の関連法令の趣旨を踏まえ、生涯学習の視点に立って行わなければならない。
- (2) 校長は、地域連携教員が果たすべき職責を鑑み、校務上の調整、研修への参加、その他の必要な配慮を行うよう努めるものとする。

第6 任期

- (1) 地域連携教員の任期は、指名された日の属する年度の末日までとする。
- (2) 地域連携教員は、再任されることができる。

第7 その他

- (1) 県教育委員会は、地域連携教員が十分に職務を遂行することができるよう、研修その他必要な支援を講ずるよう努めるものとする。
- (2) 県教育委員会は、地域連携教員の活動状況の把握に努めるものとする。
- (3) 県教育委員会は、地域連携教員の設置に関して評価を行い、必要に応じて指針の見直しを図ることとする。

第8 委任

この指針の実施細目は、別に定める。

附則

この指針は、平成26年4月1日から実施する。

員の概要及び支援体制について 成26年度地域連携教

計

ŊŒ 舟

地域の特性を生かした教育活動を、生涯学習の視点から効果的・効率的に展開するため、社会教育主事有資格教員をはじめ、地域連携の中心となる教員を明確化しながら、地域連携に関する学校内外の体制整備を行い、地域に根ざした特色ある学校づくりを目指す。

地域連携教員の状況に応じて、教頭及び他の教員との職務分担等を行いなが 地域連携教員は次の職務の<u>実施もしくは支援</u>を行う。 ら液作したい

地域と連携した取組の総合調整に関すること【総合調整】

〇学校と地域が連携した取組についての総合調整

地域連携計画について教職員への周知のための研修会等の実施 [具体例] 学校全体の地域連携に関する年間計画の作成

地域と連携した取組の連絡調整や情報収集等に関すること[連絡調整]

〇地域連携に関する情報収集·発信

[具体例] 地域連携に関する教育事務所等との連絡窓口 地域連携に関する研修会等への参加

地域と連携した取組に関する連絡・調整

[具体例]地域連携に関する地域との連絡窓口 地域人材(学校支援ボランティア等)の受入れに関する連絡調整

地域と連携した取組の充実に関すること【企画・支援】

・地域と連携した取組の企画・運営

[具体例] 担当する校務分掌における地域連携活動の導入 地域と連携した活動における参加型学習の導入

教職員が行う地域と連携した活動の企画・運営支援

【具体例】地域と連携した活動におけるプログラムの企画・運営支援 他校との連携事業における企画・運営支援

START

指名の方法

校長が指名し校務分掌に位置づける

・教育委員会からの発令・任命ではなく、設置指針に したがって各校の校務分掌の中で校長が指名する。 (市町教委と連携して県教委が集約する。

名称は「地域連携教員」とする

・「地域連携教員」として、学校内の教員及び地域の関係者にその存在が明確になるように努める。

指名する人数は各校1名とする

地域連携に関する担当者を明確にするため、校内に複 数の社会教育主事有資格教員が在籍している場合でも 1名を指名する。

指名の要件

原則として社会教育主事有資格教員

有資格教員を指名することとするが、他に適任の教員 がいる場合は資格の有無にかかわらず適任者を指名す

管理職以外を指名することとするが、学校の状況により 難しい場合は、教頭を指名する。 ※有資格教員以外を指名する場合には、市町教育委員会 と連携して、教員の社会教育主事講習への派遣に努め る。

校内の体制整備

- 地域連携係 ∫の設置

・地域連携教員が、地域連携に関する窓口として明確となり、学校全体の地域連携の総合調整ができるよう、「地域連携係」を設置する。 域連携係」を設置する。 ※ただし、学校の状況により地域連携を担う保等が明確に なっている場合には、「地域連携係」の名称でなくても 良い。

③地域連携の職務を明

地域連携係 確にして再構築

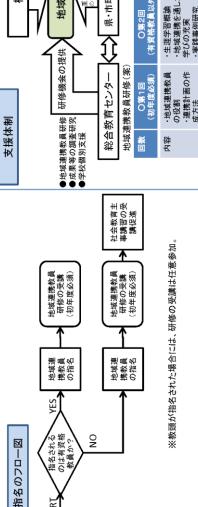
地域連携係と生涯学習係等との関係(パターン例) ⑤ 別の係として設置 ○業務を整理して別の (職務内容が別の場合)係として設置 生涯学習係 生涯学習 係

各学校の状況に合わせて係を設置する。

※地域連携係を位置づける部により、地域連携を視点とした「特色ある学校づくり」の充実に繋げていくことも期待できる。

教頭・教務主任等が担う地域連 携活動の補佐 PTAのOBと連携したPTA活動の 地域と一体となった生徒指導 の充実 ■ 地域連携係の位置づけと特色づくり(県立学校の例) 期待される取組の(例) 地域と連携した インターンツップの 充実 地域の教育資源を活用した 学習活動の充実 地域との交流活動の充実 涉外部 教頭 校师

地域連携重点推進校の指定



・地域連携教員の活動の充実を図 るため、各教育事務所単位で2 枚を重点推進校に指定する。 ・重点推進校の指定にあたっては、 小学校 1校、中学校 1校を目安 として各事務所の状況により指 定する。 ●ネットワーク構築支援 ●地域情報の提供 社会教育主事 等実践フォーラ ギプションの (中質参哲) 有資格教員·地域 連携教員等(任意) ●相談窓口 教育事務所 社会教育主事・ 有資格者ステッ プアップ研修 有資格教員·地域 連携教員等(任意) 情報提供·研修 メプション(① (田賞参加) 地域連携教員 県·市町教育委員会 (単単) 地域連携教員 岷 指名 校 有資格教員でない地域連 携教員(初年度必須) 〇第2回 (有資格教員以外) ・地域連携を通した 学びの充実 ·実践事例研究 ・連携計画の作 成方法 新任の地域連携教 員(初年度必須) 松

→地域連携活動の広域的な展開。 同一市町の中学校区等に集中し

(ターン① 管内市町に分散して指定する。

[指定のパターン(例)]

重点校種を設定して指定する。 小学校2校または中学校2校 →集中的な連携事業の展開。

→小・中学校の連携。

て指定する パターン®